

## 「親子キャンプ～クリスマス編～」

### 1. 趣旨

クリスマスイベントに関わるレクリエーションや森の散策等の野外活動を通じて、自然に親しむとともに親子の交流を深める。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

令和6年12月14日(土)～12月15日(日)【1泊2日】

#### (2) 参加者

##### ①参加対象

小学校1～2年生とその保護者 ※兄弟姉妹がいる場合も参加可

##### ②参加人数

23名(10家族)

### 3. 企画運営のポイント

(1) 季節の行事であるクリスマスに関するプログラムを通して親子の交流を深めるとともに、森の散策等の野外活動を取り入れ、自然に親しむ機会を設ける。

(2) 法人ボランティアが企画、運営をする自主企画事業でもあるため、法人ボランティアと連携を密に図り、趣旨に沿った事業となるよう計画を進めた。

### 4. 日程

	午前	午後
12月14日 (土)		開会式 わくわくタイム (アイスブレイク・森の散策) クリスマス会準備 (リース作り、部屋の飾りつけ) キャンドルナイト (紙芝居、レクリエーション)
12月15日 (日)	朝のつどい クリスマス会 (ケーキ作り、レクリエーション) 閉会式	

## 5. 主な活動内容



アイスブレイク



森の散策



クリスマス会準備(リース作り)



キャンドルナイト



クリスマス会  
(ケーキ作り)



クリスマス会  
(レクリエーション)

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足10家族(100%) やや満足0家族 やや不満0家族 不満0家族

### (2) 参加者の声

- ・子供にとって、家族旅行以外で初めての宿泊でした。様々なプログラムを用意していただき、貴重な体験をさせていただきました。
- ・「森の散策」では、直接自然に触れたり、普段聞けない説明を聞くことができて楽しめました。
- ・「キャンドルナイト」では、キャンドルの灯りをみんなで囲み、とても温かみを感じることができ、最高の思い出になりました。
- ・「クリスマス会」のケーキ作りでは、自分で楽しみながら作ったので、美味しくたくさん食べていて嬉しく思いました。
- ・「クリスマス会」のレクリエーションでは、全員で遊ぶことができ子供たちがとても楽しそうでした。みんなで一つのことをするという素敵な体験ができました。

### (3) 成果

- ・「わくわくタイム」は、初めて出会う参加者同士の緊張をほぐすために、良い機会となったという意見が多かった。特に「森の散策」については、日常生活の中で自然に触れる機会が少ない参加者が多かったこともあり、興味関心が高かった。
- ・「キャンドルナイト」については、紙芝居やハンドベルの演奏など参加者を楽しませる工夫が多く盛り込んだことにより、満足度が高かった。
- ・事業全体を通してボランティアが主体となり、企画・運営を行った。保護者からは、子供に優しく接してくれて、安全な活動ができるよう見守ってくれてありがたかったなど、肯定的な意見が多く寄せられた。

### (4) 課題

- ・ボランティア自主企画事業として、法人ボランティアが全てのプログラムの運営に携わったが、中心メンバー以外のメンバーに役割分担等が十分に伝わってなかった。ボランティアスタッフ一人一人の経験値等の実態に応じた支援を実施するとともに、事前のスタッフミーティングを充実させる必要がある。
- ・募集に対し、定員を大きく超える数の申し込みがあり、参加者を抽選で決定した。より多くの参加者の受け入れが可能なプログラムの内容を企画する必要がある。